

## フォーラム宣言

松本糸魚川連絡道路の整備への願いは、昭和51年の「塩の道経済懇談会」で要望決議されて以来、今年で40年を迎えた。

この間、沿線地域においては、人口減少と少子・高齢化が進み、地域活力の原動力となる若者たちの減少が続いている。

国の経済においては、グローバル化の荒波にもまれ、いわゆるデフレ不況・低成長時代からの脱却への道筋は未だ見通すことはできず、道路事業を取り巻く環境は、年々厳しさを増している。

一方、近年多発する自然災害への安全性はもとより、ヒトとモノの流れが生み出す地域経済と観光の振興、「塩の道」を通じた経済・歴史・文化の交流促進など、松本糸魚川連絡道路が有する多様な整備効果に対する期待は益々高まっている。

このような状況の中、道路整備がもたらすこれらの効果が持続的に発揮されることは、雇用の創出や若者の定着など我々の地域が抱える諸課題の解決に向けた未来への投資につながるものであり、真の地方創生を実現するものである。

本フォーラムの開催に際し、次の共通認識のもと、一日も早い整備実現に向け、新たな一歩を踏み出すことを本日ここに宣言する。

- 一 我々沿線住民は、松本糸魚川連絡道路が、防災対策や救急医療、経済や観光などの側面において、沿線地域に欠くことのできない必須の社会資本であるとともに、日本海国土軸と太平洋国土軸をつなぎ日本の国土強靱化にも資する重要な路線であることを改めて認識する。
- 一 我々沿線住民は、松本糸魚川連絡道路の早期実現に向けて、新潟・長野両県の県域を越えた地域共同体としてお互いの絆を深めるとともに、広域的な連携のもと、地域の存続にかかわるという危機感をもって、整備促進に取り組む。
- 一 我々沿線住民は、古くから受け継いできた「塩の道」がつくりあげてきた人と人とのつながりと、北アルプスから日本海にいたる類まれな自然景観を生かし、松本糸魚川連絡道路の沿線地域の交流を促進して、新たなつながりを育み未来につなげていく。

平成28年8月27日

地域高規格道路松本糸魚川連絡道路新潟県ルート建設促進協議会  
地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の早期建設と利用促進を進める会